

◆ 講 師

東京都健康長寿医療センター研究所
自立促進と精神保健研究チーム
オーラルフレイル・栄養

本川 佳子 先生



◆ 演 題

「リハビリテーション・口腔・栄養の連携」

◆ 抄 録

高齢者人口の増加とともに要介護高齢者の増加が予想され、前駆状態であるフレイル予防が喫緊の課題となっている。Frailty Cycleの中で栄養は、食欲の低下、体重減少、低栄養といった要因が要介護へ進む加速因子となることが示されている。その栄養と深く関わるのが歯数をはじめとした口腔機能や運動である。口腔については我々の研究で咀嚼機能とたんぱく質・ビタミン類等の栄養素等摂取量、肉類・緑黄色野菜等の食品群別摂取量が関連し、さらに栄養状態との有意な関連が明らかとなった。また運動は食欲の維持・向上に重要である。

これらの結果から、口腔機能や身体活動を把握したうえで栄養管理を行う必要性や多職種連携の必要性は極めて高いといえる。本講演では、研究や現場での活動を通じて連携がより強固なものとなるよう皆様と検討していきたい。

◆ 略歴・職歴

2006年 管理栄養士取得

2011年 東京農業大学大学院博士課程（食品栄養学）修了博士号取得

大学院修了後、急性期病院勤務を経て在宅栄養管理を行う。

2015年より東京都健康長寿医療センター研究所（現在に至る）

◆ その他

2022年 東京都栄養士会理事

2024年 日本栄養士会理事

◆ 主な研究テーマ

- ・フレイル予防を基軸とした栄養ケア
- ・口腔と栄養の連携 等

◆ 著書等

- ・摂食嚥下リハビリテーション栄養専門管理栄養士のための 摂食嚥下障害者の栄養アセスメント実践マニュアル
- ・臨床栄養 管理栄養士・栄養士が知っておきたい口腔のミニマムエッセンス オーラルフレイルの視点から 臨時増刊号 137 巻4号